

令和5年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会報告書

【 小学校 図工 】

所 属 名 青森県総合学校教育センター
職名・氏名 指導主事 野呂 俊光

【報告書のポイント】

- 小学校学習指導要領 図画工作科について
- 造形遊びをする活動を通して資質・能力の育成について



学習指導要領 小学校図画工作科の目標

小学校図画工作科の目標

表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようとする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようとする。
- (3) つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。

学習指導要領 小学校図画工作科の目標

小学校図画工作科の目標

表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようとする。
「知識及び技能」
- (2) 造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想したり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようとする。
「思考力、判断力、表現力等」
- (3) つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。
「学びに向かう力、人間性等」

3

学習指導要領 小学校図画工作科の目標

図画工作科の目標

表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

知識

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようとする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想したり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようとする。
- (3) つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。

4

学習指導要領 小学校図画工作科の目標

小学校図画工作科の目標

表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働きかせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

A表現を通して育成する「思考力、判断力、表現力等」と「B鑑賞」の双方に重なる資質・能力

A表現を通して育成する
「思考力、判断力、表現力等」に関する資質・能力

(2) 造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようとする。

(3) つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。

B鑑賞を通して育成する「思考力、判断力、表現力等」に関する資質・能力

学習指導要領 小学校図画工作科の目標

図画工作科の目標

表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働きかせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようとする。

(2) 造形的な視点について自分の感覚や行為を通して考え、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようとする。

(3) つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。

学びに向かう力、人間性等

学習指導要領 小学校図画工作科の目標

教科の目標、各学年の目標及び内容の系統表（小学校図画工作科）

教科の目標、各学年の目標及び内容		系統表(図画工作解説)		
第1目標	表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働きかせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力についての目標	<p>表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働きかせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力についての目標</p> <p>(1) 对象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方による。</p> <p>(2) 造形的ななよさや美しさ、表したこと、表し方などについて考えて、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する感性を育む。</p> <p>(3) 「づくり」すばりや美しさを向かうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。</p>		
		(第1学年及び第2学年)	(第3学年及び第4学年)	(第5学年及び第6学年)
1目標	(1) 对象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方による。	(1) 对象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方による。	(1) 对象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方による。	
	(2) 造形的ななよさや美しさ、表したこと、表し方などについて考えて、楽しく発想や構想をしたり、身内の回りの作品などをから自分の回りの方々に広げたりすることができるようになる。	(2) 造形的ななよさや面白さ、表したこと、表し方などについて考えて、楽しく発想や構想をしたり、身近にある作品などをから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようになる。	(2) 造形的ななよさや面白さ、表したこと、表し方などについて考えて、楽しく発想や構想をしたり、身近にある作品などをから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようになる。	
2内容	(3) 「づくり」すばりや美しさを向かうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。	(3) 「づくり」すばりや美しさを向かうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。	(3) 「づくり」すばりや美しさを向かうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。	
	(1) 表現の活動を通して、商標や模様に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。	(1) 表現の活動を通して、商標や模様に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。	(1) 表現の活動を通して、商標や模様に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。	
A表現	ア 造形遊びをする活動を通して、身边に自然物やその形や色などを基に造形的な活動を用いてくことや気持ちを持ちながらどのように活動するか。	ア 造形遊びをする活動を通して、身边に自然物やその形や色などを基に造形的な活動を用いてくことや気持ちを持ちながらどのように活動するか。	ア 造形遊びをする活動を通して、身边に自然物やその形や色などを基に造形的な活動を用いてくことや気持ちを持ちながらどのように活動するか。	
	イ 紙や立体、工作中に表す活動を通して、感じたことから、表現するときに、手形や色などの印象などを考えたりしならうにあつてについて考えること。	イ 紙や立体、工作中に表す活動を通して、感じたことから、表現するときに、手形や色などの印象などを考えたりしならうにあつてについて考えること。	イ 紙や立体、工作中に表す活動を通して、感じたことから、表現するときに、手形や色などの印象などを考えたりしならうにあつてについて考えること。	
B鑑賞	(2) 表現の活動を通して、技術に関する次の事項についての指導する。	(2) 表現の活動を通して、技術に関する次の事項についての指導する。	(2) 表現の活動を通して、技術に関する次の事項についての指導する。	
	ア 造形遊びをする活動を通して、身边で扱いや運び方などと合わせることによって、運べたり、つないだりする手や体全体の感覚などを働きかせ、活動していくこと。	ア 造形遊びをする活動を通して、身边で扱いや運び方などと合わせることによって、運べたり、つないだりする手や体全体の感覚などを働きかせ、活動していくこと。	ア 造形遊びをする活動を通して、身边で扱いや運び方などと合わせることによって、運べたり、つないだりする手や体全体の感覚などを働きかせ、活動していくこと。	
(共通項目)	(1) 鑑賞の活動を通して、次に示す事項を身に付けることができるよう指導する。	(1) 鑑賞の活動を通して、次に示す事項を身に付けることができるよう指導する。	(1) 鑑賞の活動を通して、次に示す事項を身に付けることができるよう指導する。	
	ア 自分の回りの作品などを鑑賞する活動を通して、自分たちの作品や身近な材料などをその形や色などと合わせて、感じ取ったり考えたりして、自分がいかにもうなづかせる。	ア 自分の回りの作品などを鑑賞する活動を通して、自分たちの作品や身近な材料などをその形や色などと合わせて、感じ取ったり考えたりして、自分がいかにもうなづかせる。	ア 自分の回りの作品などを鑑賞する活動を通して、自分たちの作品や身近な材料などをその形や色などと合わせて、感じ取ったり考えたりして、自分がいかにもうなづかせる。	
(1)「A表現」と「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。		(1)「A表現」と「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	(1)「A表現」と「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。	
「知識」		ア 自分の感覚や行為を通して、形や色などの気付くこと。	ア 自分の感覚や行為を通して、形や色などの気付くこと。	
「思考力・判断力・表現力等」		イ 形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。	イ 形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。	

系統表(図画工作解説P146~147)

〔共通事項〕

(1) ア ... 知識

(1) イ…思考力・判断力・表現力等

造形遊びをする活動を通して資質・能力の育成 共通事項について

これまで行われてきた指導内容や方法を〔共通事項〕の視点で検討し、改善することが重要

「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、**[共通事項]**
(1) ア「知識」に関する事項、イ「思考力、判断力、表現力等」
に関する事項を指導する

児童は、材料に触れて形の感じや質感を捉えたり、材料を見つめながら色の変化に気付いたりするなど、直観的に対象の特徴を捉え、理解している。

同時に対象や自分の行為などに対して自分なりのイメージをもっている。思考力・判断力・表現力等

思考力・判断力・表現力等

造形遊びをする活動を通して資質・能力の育成 共通事項について

[共通事項]

- ・表現及び鑑賞の活動の中で、共通に必要となる資質・能力
- ・造形活動や鑑賞活動を豊かにする
- ・「思考力、判断力、表現力等」、「技能」を働かせる際の具体的な手掛けり
- ・形や色などを活用したコミュニケーションの基盤
- ・造形的な見方・考え方を働かせる児童の具体的な姿

共通事項の視点



児童の活動を捉えやすくなる

造形遊びをする活動を通して資質・能力の育成 共通事項について

児童が自分の感覚や行為を大切にした学習活動をする

造形的な視点である

「形や色など」、

「形や色などの感じ」、

「形や色などの造形的な特徴」

などが、活用できる「知識」として習得されたり、
新たな学習の過程を経験することで更新されたり
していく

実際に
経験したこと



より本物の
知識となる

造形遊びをする活動を通して資質・能力の育成 「A表現」(1)ア

「A表現」(1)アを通して育成する 「思考力, 判断力, 表現力等」(発想や構想)

第1学年及び第2学年

身近な自然物や人工の材料の形や色などを基に造形的な活動を思い付くことや,
感覚や気持ちを生かしながら, どのように活動するかについて考えること
(解説P38)

第3学年及び第4学年

身近な材料や場所などを基に造形的な活動を思い付くことや, 新しい形や色など
を思い付きながら, どのように活動するかについて考えること (解説P61)

第5学年及び第6学年

材料や場所, 空間などの特徴を基に造形的な活動を思い付くことや, 構成したり
周囲の様子を考え合わせたりしながら, どのように活動するかについて考えること
(解説P84)

11

造形遊びをする活動を通して資質・能力の育成 「A表現」(1)ア

造形的な活動を思い付く

第1学年及び第2学年

より多くの材料に触れ
体験させる

材料に働きかけて捉えた形や色,
自分のイメージなどを基に造形的な活動を発想する (解説P39)

第3学年及び第4学年

材料や場所などに働きかけて捉えた形や色の感じ,
自分のイメージなどを基に造形的な活動を発想する (解説P62)

第5学年及び第6学年

材料や場所, 空間などに働きかけて捉えた特徴,
自分のイメージなどを基に造形的な活動を発想する (解説P85)

造形遊びをする活動を通して資質・能力の育成 「A表現」(1)ア

どのように活動するかについて考える

第1学年及び第2学年

新たに造形的な活動を思い付いたり、つくり方を考えたりする (解説P39)

第3学年及び第4学年

新たな造形的な活動を思い付いたり、更につくり方を考えたりすることを一体的に行いながら、自分のイメージを実現しようと考える (解説P62)

第5学年及び第6学年

これまでの経験を生かして新たに造形的な活動を思い付いたり、更につくり方を考えたりすることを一体的に行いながら、自分のイメージを実現しようと考える (解説P85)

次々と
新しい活動を考える



つくり、つくりかえ、つくる

13

造形遊びをする活動を通して資質・能力の育成 「A表現」(2)ア

「A表現」(2)アを通して育成する「技能」

材料・場所の精選

第1学年及び第2学年

身近で扱いやすい材料や用具に十分に慣れるとともに、並べたり、つなぎだり、積んだりするなど手や体全体の感覚などを働かせ、活動を工夫してつくること (解説P43)

第3学年及び第4学年

材料や用具を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、組み合わせたり、切ってつなぎだり、形を変えたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくること (解説P67)

構成的な活動

第5学年及び第6学年

活動に応じて材料や用具を活用するとともに、前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、方法などを組み合わせたりするなどして、活動を工夫してつくること (解説P89)

14

造形遊びをする活動を通して資質・能力の育成 「A表現」(2)ア

材料や用具を使う

第1学年及び第2学年

材料や用具を安全に使いながら、その扱いに慣れる
ようにする

(解説P44)

いろいろな
材料に触れる

第3学年及び第4学年

用具の扱い方に慣れるとともに、児童がつくりたいことに
合わせて、材料や用具が適切かどうかを判断したり選んだり
して、安全な使い方にも気を付けながら使う

(解説P67)

いろいろな
方法を試す

第5学年及び第6学年

児童が自ら、材料や場所、空間などの特徴から思い付いた造形的な活動に応じて
適切な材料や用具を選び、使い方を工夫してつくる

(解説P90)

15

造形遊びをする活動を通して資質・能力の育成 「A表現」(2)ア

活動を工夫してつくる

第1学年及び第2学年

材料や用具に触れたり使ったりする中で感じたことを生かしながらつくる

(解説P44)

第3学年及び第4学年

身近な材料や場所などを基に思い付いた造形的な活動をしながら自分の気持ち
や感覚、活動などを通して、活動やつくり方などを工夫してつくる

(解説P67)

第5学年及び第6学年

材料や場所、空間などの特徴を基に思い付いた造形的な活動を、活動やつくり方
などを工夫してつくる

(解説P90)

活動を
予測する

この材料を使ったら…
この場所なら…

こんなことが
できるかも!

16

造形遊びをする活動を通して資質・能力の育成

子供の学びを支える

- ①育成する資質・能力の視点で児童の活動の様子を捉える 何を思いついたのか?など
- ②指示的になりすぎて児童の発想を狭めたり、具体的な作品をつくるような意識を強くもたせすぎたりすることがないように十分注意する 指示的になりすぎない
- ③児童の多様な試みを受け止め、児童が試みること自体に価値を見いだし、更に活動を工夫するよう促していく
- ④児童一人一人の思いが友人同士の中で大切にされるように配慮する 教師こそ子どもの思いを大切に
- ⑤新しい試みをしようとすること自体を捉え、見守ったり励ましたりして、児童が主体的に造形的な活動に向かうようにする 子どもは見てもらえてうれしい
- ⑥活動の停滞が見られるときには、新しい試みをする視点に気付くようにしたり、質の違う材料を提案してみたりするなど指導を工夫する

17

造形遊びをする活動を通して資質・能力の育成

指導計画の作成と内容の取扱い／指導計画作成上の配慮事項（5）

第2の各学年の内容の「A表現」の指導については、
適宜共同してつくりだす活動を取り上げるようにすること。

「A表現」の指導において、児童が友人と共に活動することを楽しむ傾向を生かし、
適宜共同して製作する内容を取り入れることを示している

友達との関わり

共同して活動することは、様々な発想や構想、アイデア、表し方などがあることに互いに気付き、
表現や鑑賞を高め合うことにつながる

児童の実態を考慮するとともに、児童一人一人の発想や構想、技能などがあることに互いに気付き、
友人との交流によって一層働くようになることが大切

表現や鑑賞を
深め合う

決められた部分を受けもつだけで活動が終わらないように留意し、児童一人一人が
共に活動をつくりだしている実感がもてるよう工夫することが重要

（解説P108）

18

造形遊びをする活動を通して資質・能力の育成

指導計画の作成と内容の取扱い 指導計画作成上の配慮事項(2)

表現と鑑賞の
関連

第2の各学年の内容の「A表現」及び「B鑑賞」の指導については相互の関連を図るようにすること。ただし、「B鑑賞」の指導については、指導の効果を高めるため必要がある場合には、児童や学校の実態に応じて、独立して行うようにすること。

造形活動と鑑賞活動とが往還するような学習過程を設定し、児童が表現したことを、自身で味わったり、友人と交流したりすることにより、表現が深まったり、広がったりするように配慮することが大切

造形活動
(表現)

活動しながら
作ったものを見合う
(鑑賞)

活動を見つける
(表現)

(解説P106)

19

造形遊びをする活動を通して資質・能力の育成

材料などに
進んで働きかけ、
自分の感覚や行為を
通して捉えた
形や色などから
イメージをもち、
思いのままに
発想や構想を繰り返し、
技能を働かせてつくる



20

令和5年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会報告書

【 小学校 図工 】

所 属 名 青森県総合学校教育センター
職名・氏名 指導主事 野呂 俊光

【報告書のポイント】

- 小学校学習指導要領 図画工作科について
- 造形遊びをする活動を通して資質・能力の育成について

